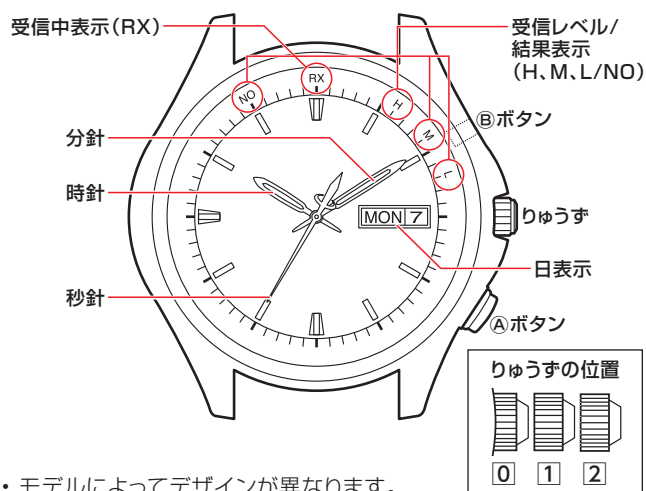


H10* 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/h10x/h10x.html>

各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。

受信結果を確認する

- この時計は、日本の標準電波を毎日午前2時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前4時に再度受信を試みます。

1. ①ボタンを押す

秒針が、受信結果（「H」「M」「L」または「NO」）を指します。

表示	受信結果
H	非常に良い環境で電波を受信中または受信したとき。
M	良い状態で電波を受信中または受信したとき。
L	良くない状態で電波を受信中または受信したとき。
NO	受信に失敗したとき。 (手動で受信を行ってください)

- モデルによって、秒針の「先の部分」で指すものと「尾の部分」で指すものがあります。
- 「H」、「M」、「L」の表示は、受信環境の適性を示すもので、時計の受信性能には関係はありません。
- 受信結果を表示して10秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。①ボタンを押すと、すぐに戻ります。
- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。

電波を手動で受信する(強制受信)

- 受信が完了するまでに、2分から15分程かかります。

1. りゅうずの位置を①にする

2. ①ボタンを2秒間以上押し続ける

秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。

受信に成功した場合: 修正された時刻を表示します。

受信に失敗した場合: 時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。

- 受信を中断したいときは、①ボタンを2秒間以上押し続けます。

時差機能を使う

時差を設定することで、時刻合わせをすることなく、他の地域の時刻を表示させることができます。

- 日本時間を基準に、±27時間の範囲(1時間単位)で時差を設定します。

1. ②ボタンを押す

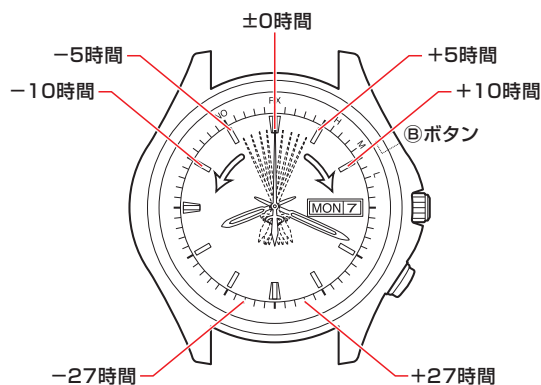
秒針が現在の時差設定を指します。

2. りゅうずを回して、時差を設定する

- 秒針が0秒を指しているときに、時差±0です。

3. ②ボタンを押す

- 何も操作しないで60秒間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。



時刻を手動で合わせる

1. りゅうずの位置を②にする

秒針が0秒を指します。

2. りゅうずを回して、分と時を合わせる

時針は分針と連動して動きます。

- りゅうずを素早く回転させると、分針が連続して動きます。りゅうずを少し回すと止まります。

- 日表示が切り替わったときが午前0時です。午前/午後を間違えないよう注意します。

3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にする

秒針が動きはじめます。

カレンダーを手動で合わせる

• この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. リューズの位置を①にする

現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。

2. リューズを回して、日表示を合わせる

3. ④ボタンを押す

曜が合わせられるようになります。

• ④ボタンを押すごとに、「曜」→「月と年」→「日表示」と修正対象が切り替わり、曜、秒針、日表示がそれぞれ動いて修正対象を示します。

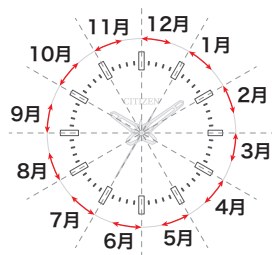
4. リューズを回して、曜を合わせる

5. ④ボタンを押す

年と月が合わせられるようになります。

6. リューズを回して、月と年を合わせる

• 月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



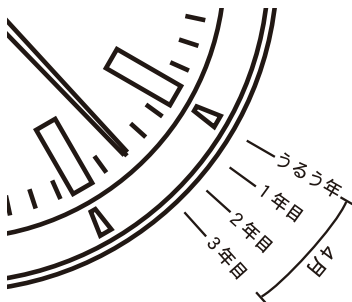
• 年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内での秒針の位置で示されます。

うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

(例)2015年4月に合わせるときは

4月→4時の範囲

2015年→うるう年から3年目



• リューズを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。リューズを少し回すと止まります。

7. リューズの位置を②にする

現在の時刻に戻ります。

基準位置を確認する

1. リューズの位置を②にする

2. 秒針が高速で動き始めるまで、⑥ボタンを5秒間以上押し続ける

各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。

• 正しい基準位置:

すべての針が12時位置、

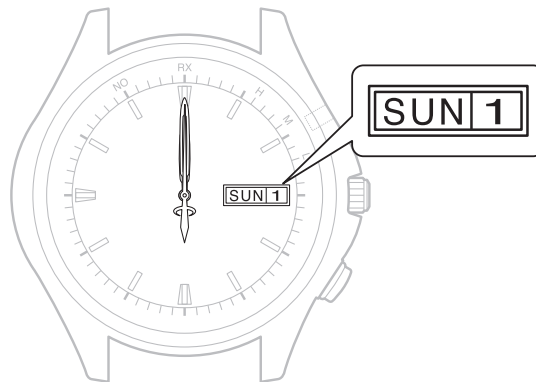
日表示が「1」、

曜表示が「SUN」

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

3. ⑥ボタンを押して、確認を終了する

時刻表示に戻ります。



基準位置を修正する

1. リューズの位置を②にする

2. 秒針が高速で動き始めるまで、⑥ボタンを5秒間以上押し続ける

各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。

3. 運針中にリューズの位置を②にする

日表示の基準位置が合わせられるようになります。

4. リューズを回して、日表示を「1」に合わせる

• リューズを素早く回転させると、日が連続して回転します。少し回すと止まります。

5. ④ボタンを押す

曜表示の基準位置が合わせられるようになります。

• ④ボタンを押すごとに、「曜表示」⇒「針」⇒「日表示」と切り替わります。修正対象が、左右に動きお知らせします。

6. リューズを回して、曜表示を「SUN」に合わせる

• リューズを素早く回転させると、曜が連続して回転します。少し回すと止まります。

7. ④ボタンを押す

時針、分針、秒針の基準位置が合わせられるようになります。

8. リューズを回して「0時0分0秒」に合わせる

• リューズを素早く回転させると、各針が連続して回転します。リューズを少し回すと止まります。
• 秒針、分針、時針は連動します。

9. リューズの位置を②にする

10. ⑥ボタンを押す

各針と日表示、曜表示が高速で時刻表示に戻ります。